

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★————INDEX————★

- [1] 【三役コラム】 技能発揮訓練（ノンテクニカルスキル/CRM 訓練）
- [2] 【常務理事コラム】 CRM 義務化と小型航空機の未来
 - ー 現場の課題と教育の可能性
- [3] 【航空局】 通達「航空従事者技能証明の限定について」
の一部改正
- [4] 【航空局】 防衛省の破壊措置ノータム
（北朝鮮による「衛星」発射）の期間延長について
- [5] 【航空局】 小型航空機等の安全運航の確保について
- [6] 【航空局】 「模擬飛行装置等認定要領細則」の一部改正（案）
に関する意見公募について
（VR等の新技術を活用したシミュレータの認定関連）
- [7] 【航空局】 R8.3.19 適用_航空保安業務処理規程の一部改正
（滑走路占有監視支援機能関連）について
- [8] 【VOICES FEEDBACK】
- [9] 【お知らせ】 セミナー・講習会価格変更について
- [10] 【お知らせ】 2025 年度 JAPA 九州支部総会及び基調講演の開催
- [11] 【お知らせ】 JAPA 中部支部 SRM セミナー・活動報告会
および懇親会の開催
- [12] 【お知らせ】 2025 年度 JAPA 西日本支部総会のご案内
- [13] 【お知らせ】 Be a pilot オンラインセミナー
3/29 YouTube LIVE の開催
- [14] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [15] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [16] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内



[1] 【三役コラム】 技能発揮訓練（ノンテクニカルスキル/CRM 訓練）
専務理事 池田 晃二



2024年2月24日、第5回自家用操縦士等ヒューマンファクターズ訓練検討会が開催され、関連団体としてJAPAも出席しました。詳細については航空局ホームページ「技能発揮訓練」をご参照ください。当日は技能発揮訓練の最終取りまとめ案が提示されましたので、その概要をお知らせします。

訓練の実施間隔は2年と定められ、更新のためには2年毎の受講が必須となります。最低訓練時間は3時間ですが、当協会が提供するTEM/CRMセミナーでは6時間を設定しております。

CRMの理解に十分な時間を確保するため、事前学習が必要となることが想定されます。訓練方式についてはオンライン受講が認められ、教材は航空局作成の標準教材および条件を満たす各登録機関の独自教材が利用可能です。

講師要件は「直近3年間に管制圏等において離着陸2回以上、またはこれに相当する能力を有する者」と規定されており、「同等以上の能力」とは指導経験（教官・査察等）を有する者を含み、OBも要件を満たします。

受講者には修了証が交付され、他のライセンス同様に携帯義務があります。適用開始は2028年6月頃を予定しており、以降は技能発揮訓練修了済みでなければ航空交通管制圏に係る空港等での離着陸等は不可となります。

JAPAでも技能発揮訓練の実施を検討しています。今後、準備が整い次第、皆さまにJAPAで行われる技能発揮訓練の詳細をご案内できる予定です。



[2] 【常務理事コラム】 CRM 義務化と小型航空機の未来

一 現場の課題と教育の可能性
常務理事 早乙女 一成



2024年1月2日に起きた羽田空港でのJAL機と海上保安庁機の事故を受け、航空局の事故対策検討委員会は中間報告の中で、コミュニケーションや手順確認の在り方など、人的要因に関する課題を示しました。これを受けて、国はすべてのパイロットにCRM（Crew Resource Management）訓練を義務化しました。

ただ、小型航空機の現場ではシングルパイロットでの飛行が多く、教官の教育観にも幅があり、組織文化も発展途上にあります。こうした状況を踏まえると、制度がやや先行しているのではないかという不安が生まれるのも理解できます。

一方でエアライン業界は、すでにCBTA（コンピテンシー・ベース訓練）へ移行し、技量だけでなく「どのように考え、判断し、行動するか」を重視する方向へ舵を切っています。事故の背景に判断や状況認識の問題が含まれることを考えれば、この変化には一定の合理性があるように思われます。

しかし小型機の訓練は依然としてスキル中心であり、現実の事故要因との間に距離があるようにも見えます。

そう考えると、今回のCRM訓練義務化を“小型機の教育を見直す契機”として捉える余地もありそうです。求められるのは、エアラインの手法をそのまま縮小することではなく、小型機の運航形態に合わせたCRMとコンピテンシーの形を探ることでしょう。シングルパイロットに適したセルフマネジメントや、教官と訓練生のコミュニケーション、リスク管理や意思決定を行動指標として整理し、訓練や評価に少しずつ取り入れていく姿が考えられます。また、教官自身が学びをデザインする存在へと変わっていくことも、今後の鍵になりそうです。

小型機の未来は、技量だけに依存する世界から、行動特性を共有し育てる文化へと移り変わる時期に差しかかっているのかもしれませんが。CRM義務化はその変化を促すきっかけとなり、コンピテンシーはその文化を支える共通言語として機能する可能性があります。こうした取り組みが、小型航空機の安全を一段と高める方向につながっていくことを期待します。



[3] 【航空局】 通達「航空従事者技能証明の限定について」
の一部改正



国土交通省航空局より「航空従事者技能証明の限定について」、
2月17日付けで一部改正した旨の連絡を受けましたのでお知らせ
します。

詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12063>



[4] 【航空局】 防衛省の破壊措置ノータム
(北朝鮮による「衛星」発射)の期間延長について



航空局より、従前より発行されておりました防衛省の破壊措置
(北朝鮮による「衛星」発射)に係るノータムについて、設定
期間が「令和8(2026)年5月19日午前0時(日本時間)
(予定)」まで延長になる新たなノータムが発行されました。

詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12073>



[5] 【航空局】 小型航空機等の安全運航の確保について



航空局 安全部 安全政策課より、小型航空機の運航の安全確保について、周知依頼がございました。

小型航空機等の安全運航の確保について、これまでも機会を捉えて関係団体等を通じて要請を行っているところですが、昨年春季（3月～4月）において小型飛行機、回転翼航空機及び超軽量動力機における航空事故及び重大インシデント（以下「事故等」という。）が計 13 件発生しております。

令和7年に発生した事故等のうち、5割以上が春季に発生しているところ、暖かくなり飛行の機会が増える春季は、安全運航により一層の注意を払っていただくことが必要になるものと認識しております。

詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12117>



[6] 【航空局】「模擬飛行装置等認定要領細則」の一部改正（案）に関する意見公募について
（VR等の新技術を活用したシミュレータの認定関連）



航空局 安全部 安全政策課 乗員政策室より、模擬飛行装置等認定要領細則」の一部改正（案）に関する意見公募の結果ならびに同細則の改正内容について報告がありましたので周知いたします。

詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12186>



[7] 【航空局】 R8.3.19 適用_航空保安業務処理規程の一部改正（滑走路占有監視支援機能関連）について



国土交通省 航空局 交通管制部 管制課より、航空保安業務
処理規程第5 管制業務処理規程（滑走路占有監視支援機能関連）
に関し、改正（3/19 適用）が行われたとの通知がありましたので、
お知らせいたします。

詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12191>



[8] 【VOICES FEEDBACK】

- <①>機体から患者搬出時にストレッチャーと共に横転
- <②>新千歳空港国際線側に標識がない



<①>機体から患者搬出時にストレッチャーと共に横転
ドクターヘリでストレッチャーを引き出し、脚がロックされるの
を確認。患者がトイレを我慢されていたため、ストレッチャーを
引き出す途中から吸水シートを患者のお尻下に設置しようとした。
その際、ストレッチャー後方のタイヤ2個が地面に着く前に患者
が右側へ寝返りを打つように体半分右側に体勢を移行した。
同時にストレッチャーごと右に横転するように患者が落下した。
患者は落下した際、腰の右側を打った。患者の落下による怪我等
はなかった。

（ VOICES コメント）

このような事象がありえるので、考えられる様々な状況に対する
手順を考えておくとよいかもしれません。

<②>新千歳空港国際線側に標識がない

【原文】 Phase of Flight: Ground Taxi, XX Flight YYY (flight from
CTS to ZZZ) taxiing on taxiway M, ATC instruct "Hold Short of

L3", Pilot looking for L3 Taxi way sign to stop the aircraft.
but There is no L3 Taxiway sign. As a result, the aircraft was
stopped using aerodrome diagram before taxiway L3 as a ATC
instruction. After the flight, Captain reported the situation that
they were confused or might have missed L3 taxiway. so, here I
propose that a L3, L4 Taxiway sign is need.

【翻訳】 新千歳空港から A 国に戻るフライトだった。TWY M を
走行中、ATC から"Hold Short of L3"の指示を受けた。

パイロットは機体を停止させるべき L3 TWY の標識を見つけよう
としたが、L3 Taxiway のサインはなかった。

このため当機はチャートを参考に管制指示どおり TWY L3 の手前
で停止した。フライト終了後、機長はクルーが L3 TWY を間違え
そうになり、通過していたかもしれないと報告した。

この状況から、L3 と L4 に誘導路標識を設けるべきだと提案する。



[9] 【お知らせ】 セミナー・講習会価格変更について



平素より当協会セミナー・講習会をご利用いただき、誠にありが
とうございます。

このたび、運営体制の維持および講習内容の充実を図るため、
2026 年 4 月 1 日より各セミナー・講習会の受講費を下記のとおり
改定させていただくこととなりました。

受講者の皆様にはご負担をおかけすることとなり誠に恐縮ではご
ざいますが、今後もより一層の品質向上に努めてまいりますので、
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2026 年度の新価格表につきましては、こちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/03/8989119b2e95e2629ae04f4f8c4f2151.pdf>



[10] 【お知らせ】 2025 年度 JAPA 九州支部総会及び基調講演の開催



春寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より支部活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、表記の件につきまして下記のとおり開催しますので、
是非とも多数のご参加いただけますようにご案内申し上げます。

日程：令和 8 年 3 月 28 日（土）

場所：くまもと県民交流パレア会議室 3

<https://www.parea.pref.kumamoto.jp>

その他詳細、お申し込みはこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/02/1712513b931bfe7041ae894b2a09e71d.pdf>



[11] 【お知らせ】 JAPA 中部支部 SRM セミナー・活動報告会
および懇親会の開催"



啓蟄の候、皆様方に於かれましては益々ご清栄のこととお慶び
申し上げます。
さて今般、中部支部では「SRM セミナー・活動報告会・懇親会」
を下記の通り行いますので、ご参加賜りたくご案内申し上げます。
今回は JAPA 本部より、TEM/CRM 講師をお招きしての SRM セミ
ナーも開催いたします。

日程：令和 8 年 3 月 20 日（日）

場所：ウインクあいち 1104 会議室

(愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38)

その他詳細、お申し込みはこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/02/310bfee8078f0c98c02dda066915f00a.pdf>



[12] 【お知らせ】 2025 年度 JAPA 西日本支部総会のご案内



春暖の候、皆様にはますますご健勝のこととお察しいたします。
さて今般、2025 年度西日本支部総会を下記の通り行いますので、
ご参加賜りたくご案内申し上げます。

日 時：2026 年 3 月 29 日（日）13：30～15：30

場 所：八尾空港内 第一航空第 3 格納庫 2F 会議室

その他詳細、お申し込みはこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/03/e589a36831d46e2c1ad214074e288b1e.pdf>



[13] 【お知らせ】 Be a pilot オンライン座談会
3/29 YouTube LIVE の開催"



Be a pilot のオンラインイベント「Be a pilot オンライン座談会」
“Talk with us”はパイロットの魅力を中学生・高校生に届けるオン
ラインセミナーです。

2022 年に第 1 回が開催され、今回が 4 回目の開催となります。

今回は、特別企画として、航空大学校にフォーカスします。
航空大学校出身のパイロットと ANA 整備センター所属のスペシャルゲストが学校生活や訓練、就職状況などパイロットへの道を語ります！
パイロットを目指す第一歩を、このセミナーから！
中学生・高校生向けの内容となりますが、どなたでもご視聴いただけます。
完全ライブ方式、チャンネルへの入退室は自由です。

【参加費】 無料

【配信日時】 3月29日（日）

第1部 12:30～、第2部 13:30～（入退室自由）

【配信形式】 YouTube LIVE（配信場所：JAPA 会議室）

【参加対象】 中高生・高校生向けの座談会となりますが、
どなたでもご視聴いただけます。

【ご視聴はこちら】 https://www.youtube.com/@japa_pilot



[14] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《第16回 SRM セミナー》

3月21日 東京/ ハイブリット形式（来場+オンライン）

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《Be a pilot オンラインセミナー》

3月29日 YouTube LIVE

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=12>

《春休み子ども航空教室・操縦体験》（満席）

3月31日 東京/ 日本航空機操縦士協会 会議室

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=11>

≪航空安全講習会≫

4月19日 埼玉/実開催のみ

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>



[15] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内



【新発売】

・ 区分航空図 507 (第6版)

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>



[16] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は4月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
